

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第2年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	日本ファインセラミックス株式会社		
事業所の名称	日本ファインセラミックス株式会社		
事業所の所在地	宮城県仙台市泉区明通三丁目10番		
主たる事業	窯業・土石製品製造業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	<p>エネルギーをめぐる社会的環境に応じた社会的責務を果たすため、エネルギー使用の合理化を総合的に進め、地球環境保全と循環型経済社会の健全な発展に寄与する。</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 省エネ法など社会的要求事項を明確にして順守する。 2. エネルギー使用の合理化を継続的に進め、限られたエネルギー、資源の有効利用に努める。 3. 教育や啓蒙活動を通して、省エネに関する全社員の意識向上を図る。 4. 省エネルギーに関するマネジメントシステムを構築、運用し、システムの継続的な改善に努める。 		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	3,911 t-CO ₂	基準原単位	0.8306
	目標年度	2022 年度	目標排出量	3,675 t-CO ₂	目標原単位	0.805
			削減率	6.03 %	削減率	3.08 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	4,070 t-CO ₂	排出原単位	1.067
			削減率	-4.07 %	削減率	-28.47 %
	排出量等の増減理由	新型コロナウイルスの影響による売上金額金額の落ち込みや換気の影響による空調機械の稼働率が増えたため削減率がマイナスとなってしまった。				
	第2年度	2021 年度	排出量	4,848 t-CO ₂	排出原単位	0.9458
			削減率	-23.96 %	削減率	-13.87 %
	排出量等の増減理由	新型コロナウイルス及び半導体不足の影響による売上金額金額の落ち込みや換気の影響による空調機械の稼働率が増えたため削減率がマイナスとなってしまった。				
第3年度	2022 年度	排出量	t-CO ₂	排出原単位		
		削減率	%	削減率	%	
排出量等の増減理由						

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	67 %	目標年度	100 %
	第1年度	67 %	実施状況の説明等	基本的には基準年度と同様の実施状況となるが、新型コロナウイルスの関係で、新たな取り組みまでには至らなかった。
	第2年度	81 %	実施状況の説明等	基本的には基準年度と同様の実施状況となるが、新型コロナウイルス及び半導体不足の関係で、新たな取り組みまでには至らなかった。
	第3年度	%	実施状況の説明等	

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	生産性管理		実施済
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	ボイラーの運転効率管理		未実施
	蒸気トラップの管理		実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理		実施済
	圧縮空気系統の保安全管理		実施済
	デマンド管理		実施済
	窓の断熱性向上		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	廃棄物削減対策の実施	3R(Reduce、Reuse、Recycle)活動により廃棄物を削減している。	実施済
	ヒートアイランド対策の実施	屋根面に高反射率塗料を塗布しており、遮熱対策を施している。	実施済
	環境マネジメントシステムの導入	ISO14001(環境マネジメントシステム)を認証取得しており、有効期限は2025年2月8日になっている。	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	動力変圧器のトップランナー変圧器への更新 高効率照明器具への更新	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	高効率照明器具への更新	実施済